



ボルネオへの 恩返し

ボルネオへの恩返しプロジェクト

木材、アブラヤシから採るパーム油・・・日本ではボルネオのおかげで豊かに暮らしているが、現地では森が減って野生動物が困っている。ボルネオの恵みを人間だけで独り占めせず、野生動物と共に生きていくために、ボルネオに恩返しをするプロジェクト。ありがたい気持ちを「形」にするため、サバ州野生生物局とともに野生生物レスキューセンターの設立を目指す。



2013年9月 ボルネオゾウのレスキューセンター 1期工事完成、いよいよ運用です



ボルネオ島では熱帯雨林がどんどんアブラヤシ農園になり、行き場を失ったボルネオゾウがアブラヤシ農園に入り込んで殺傷されたりしています。現地では「害獣」扱いされているゾウを捕獲して保護区の森に戻していますが、農園開発のスピードが速くて、森に戻す作業は追いつきません。このまま

なにもしないと手遅れになってしまいます。現地では野生生物レスキューセンターの構想を持っていますが、旭山動物園、BCT ジャパンが中心となって、ゾウを一時的に保護する緊急避難施設をレスキューセンター1期工事として行いました。ゾウのパドックは柵方式で、柵自体は日本で作り、ボルネオまで輸送し、組み立てました。レスキューセンターの建設地はキナバタンガン川下流域の保護区。熱帯特有の赤土で雨が降るとぐちゃぐちゃで建設重機も動かせず、工事は予定より時間がかかりましたが、2013年9月には無事開所式を迎えることができました。1期工事は、資金面（総工費4800万円）ではボルネオ支援自販機や寄付、技術面では日本



本の各企業からのサポートをいただきました。1期工事で作れたのは小さな施設ですが、この施設の運用をとおして、レスキューセンターの全体像をプランニングし、一つ一つ具体化していきます。「共に暮らす未来のために」今後とも、よろしくお願いいたします。



坂東 元 旭川市旭山動物園園長・BCTジャパン理事

坂東 元講演会

●2013年11月30日(土)

18:30～20:30 大阪ドーンセンター4F大会議室
BCTジャパン報告会 問い合わせ・申し込み/ info@bctj.jp

●2013年12月1日(日)

14:00～16:00 大阪大学吹田キャンパスコンベンションセンター
国際開発学会市民公開講座 問い合わせ/ jasid24@hus.osaka-u.ac.jp

*2014年冬、東京でも報告会予定。

協力するには

【寄付】

銀行振込：みずほ銀行品川支店
普通 135-1315067
口座名
トクヒ)ボルネオ保全トラスト・ジャパン

郵便振替：ボルネオ緑の回廊基金
00160-9-595712

*レスキューセンターへの寄付と明記してください。

【ボルネオ支援自販機の設置】

代金の一部がレスキューセンター建設の資金になります。詳細は、info@bctj.jp までお問い合わせください。



BCTジャパンは生物多様性保全活動を行っています。
くわしくは、www.bctj.jp

